

環境報告書 2003~2004(H15-16)年度 簡易版

1. 総括

(1) 環境活動全般

① 法規制の遵守状況は絶えず良好です。(大気・水質・臭気・化学物質管理実績等)
② 環境目的・目標に対する実績もほぼ満足しています。

(2) 廃棄物処理、エネルギー使用状況

① 生産増に伴う、廃棄物処理量・エネルギー使用量の増加は改善活動により、絶えず抑制されています。
② 2年間の経済効果(概算)
--- 23,000(千円)
・生産電力: 22,440(千円)
・廃棄物処理: 310(千円)
・生産外電力、他

(3) 今後の取組み

① 各部門の本業(例: 不良・在庫・資材・副資材等の削減、環境負荷の少ない製品開発、グリーン調達など)からの課題も目標に掲げて、取組んでいきます。
② 今後も全員参加の改善活動を継続しましょう!

2. 環境目的・目標一覧表

	環境目的	目標値
電力削減	生産電力の削減	2003年度: 3% (1,033千kwh) 2004年度: 5% (1,721千kwh) 2005年度: 7% (2,409千kwh)
	2002年度使用量を基準として2005年度末までに7%削減 (2002年度電力使用量: 34,421千kwh)	
	2002年度使用量を基準として2005年度末までに7%削減 (2002年度電力使用量: 34,421千kwh)	
廃棄物削減	一般廃棄物削減⇒ダンボールリサイクル向上	ダンボールリサイクル量(単位: kg) -2001~2002年度平均: 39,370kg -2004年度: 41,300kg...増加率 157% 生産額換算(百万円) -2001~2002年度平均: 35,000 -2004年度: 29,301...増加率 117%
	2003年度当初、一般廃棄物の削減に取組んだが、発生されるはずのダンボールの大量廃棄が原因で、一般廃棄物の処理量が増加傾向に転じてしまった。(ダンボール指定廃棄量: 約21トン) そこで、ダンボールのリサイクル量を削減目標として、生産・業者・生徒・廃棄物リサイクル部会共同で改善を進めた。	
	2003年度: 目標、活動検討 2004年度: 下期から (1,770kg) 2005年度: 10% (7,832kg)	
製品環境負荷削減	塗料コスト削減	2003年度: 目標、活動検討 初年度は調査・検討し、この結果により数値目標を立案。2001年度を基準として2005年度までに10%削減 (2001年度換算量: 78,320kg) 2004年度: 下期から (1,770kg) 2005年度: 10% (7,832kg)
	従来機種よりも総合的に削減	評価点を従来比120%以上
	2005年度までに該当品目を削減(使用廃止)	
有害物質削減等	鉛含有塗料の削減	2003年度: 3品 2004年度: 5品 2005年度: 9品
	2005年度までに該当品目を削減(使用廃止)	
	塗料以外の有害物質特定と禁止・削減、調査・検討を中心に活動開始	

3. 環境パフォーマンス

(1) 目標に対する実績 (2) 外部排出関係の実績

目標達成率
80%(823千kwh)
109%(1,870千kwh)

生産物に伴うダンボール増加量 -39×1.17=約46トン 2004年度ダンボール換算量 -約62トン 削減されたリサイクルへ分類されたダンボール換算量 -62-46=16トン
調査・検討実施済み
228%(4,050kg)

113%(実績136%/120%)
67%の達成
80%の達成

大気データ

主な特定施設	物質(単位)	基準値	H15-16測定値
伊勢屋管ボイラー	ばいじん (g/m ³)	0.3	<0.005
	いかり酸化物 (g/m ³)	23	0.27
KMH-20A	窒素酸化物 (ppm)	180	70
	揮発性有機化合物 (ppm)	-	<10
北野清浄機	ばいじん (g/m ³)	0.2	<0.005
	いかり酸化物 (g/m ³)	-	-
ディーゼル機関 (No.1,2)	ばいじん (g/m ³)	0.1	0.008-0.02
	いかり酸化物 (g/m ³)	94-10	2.3-2.6
	窒素酸化物 (ppm)	1200	830-1000

水質データ

主な測定項目	基準値	H15-16測定値
PH	5.8~8.6	6.5~7.8
BOD	20mg/l	3.1~11
SS	30mg/l	1~10
Nヘキサン	5.0mg/l	0.5~1.9
窒素	100mg/l	2.42~3.48
フッ素化合物	8mg/l	0.05~0.08
ホウ素	10mg/l	0.02~0.16
鉛	0.1mg/l	0.005

臭気データ

悪臭防止法の規制基準が『物質濃度規制から臭気指数規制』へ変更されたので、境界線と場内の主な排出口で臭気指数を調査を実施しました。(2003年3月制定、同年9月施行)

H15年7月

	高さ	基準値	測定値
境界線 北側	1m	15	<10
境界線 南側	1m	15	<10

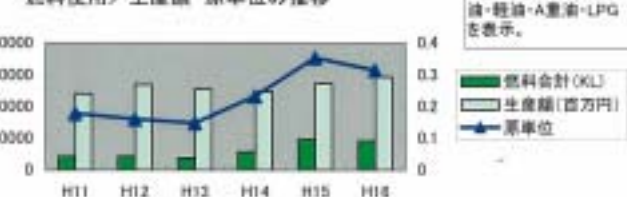
*一部場内の排出口で規制値オーバーしており、現在計画的に改善中。

(3) 廃棄物処理、エネルギーの推移 (ISM、ICC松本工場)

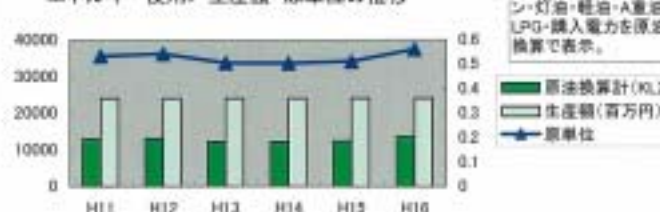
廃棄物処理/生産額 原単位の推移



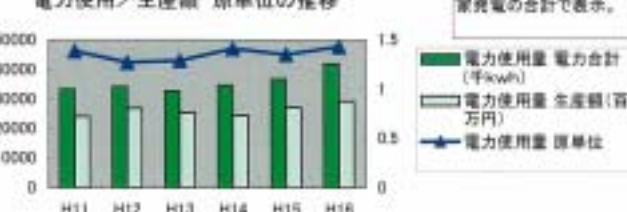
燃料使用/生産額 原単位の推移



エネルギー使用/生産額 原単位の推移



電力使用/生産額 原単位の推移



(4) 化学物質管理の実績 (PRTR法)

H15年度 PRTR法 対象物質の年間排出量報告

	トルエン	キシレン	ホルムアルデヒド	クロム酸鉛
使用量	7,825.0	21,795.8	67.3	206.8
排出量	7,825.0	21,795.8	67.3	206.8
	シクロロメタン	ベンゼン	エチルグリコール	
使用量	0.0	1,892.9	0.0	
排出量	0.0	1,892.9	0.0	

H16年度 PRTR法 対象物質の年間排出量報告

	トルエン	キシレン	ホルムアルデヒド	クロム酸鉛
使用量	6,928.2	20,109.6	48.9	1,184.9
排出量	6,928.2	20,109.6	48.9	1,184.9
	シクロロメタン	ベンゼン	エチルグリコール	
使用量	0.0	1,570.9	0.0	
排出量	0.0	1,570.9	0.0	

4. 主な改善活動、各部門の状況など

省エネ活動

●H15年度は改善が進んだ部門とあまり進まない部門があり、次の結果。

- 生セ加工部 : 103% 達成
- 生セ組立部 : 46%
- 生セ成形材 : 48%
- 生セ生技部 : 112% 達成
- ICC松本工場 : 108% 達成

●H16年度は昨年度後半から全部門で改善が進み、次の結果。

- 生セ加工部 : 129% 達成
- 生セ組立部 : 103% 達成
- 生セ成形材 : 82%
- 生セ生技部 : 139% 達成
- ICC松本工場 : 123% 達成

●主な改善事例

- 改善モデルラインの電力量の把握(計画的な計器設置)で原単位の把握
- 録物、高周波溶解炉の導入に伴い受電点の効率改善、100%へ
- 加工ライン、油圧ポンプのインバーター化、またVベルトは省エネベルトに切替
- エアー流れ部にエフ付けし、修復活動の推進
- 省エネパトロール・他啓発活動の継続など

廃棄物削減活動

●H15年度、紙・木屑廃棄量の削減に取り組みました。
…その中で本来リサイクルに回すはずのダンボールが大量に廃棄されていたので、H16年度このリサイクルに注力しました。

●H16年度はリサイクル率を大幅に向上することができ、H17年度目標を上方修正しました。

5S活動

●全社一斉5S活動(毎週水曜日)、月次・年次の労使合同ボランティア活動の継続により、特に工場周辺の美化が飛躍的に向上している。

有害化学物質禁止・削減活動

●EUの自動車、家電に対する環境指令により、客先から有害化学物質(6価クロム、鉛、水銀、カドミウムなど)の禁止指示がありました。…研究室、事業部、生産センター調達室、部品部などからメンバーを選定し活動を開始しました。

●国内労働安全衛生法により、原則として全種類の石棉(アスベスト)が使用禁止となりました。…上記同様に関係メンバーで活動を開始しました。

●当社に關係する『有害化学物質44品目』を特定し、禁止・削減に向けて取り組みを開始しました。グリーン調達ガイドラインの発行、有害化学物質調査の実施、他…化学物質管理部会、製品アセスメント部会、資材調達室

5. 主な環境活動(年表)

年・月	シバウラの社会・環境活動	世の中の動き
2003年 (H15)	4月 ●マイカー通勤の節減運動、試行開始 ●労使合同ボランティア実施	・PCB特別措置法の制定
5月	●環境標語の表彰および環境月間の行事開催 一木置き場、省エネ管理、劇毒物保管などのパトロール 一排水路、マンホール蓋の再表示、放置自転車・タイヤ等の回収廃棄	・廃掃法の改正
6月	●環境フェア(長野市ビックハット)への出展参加 ●録物工場、高周波溶解炉の騒音苦情	
7月	●コンプライアンスガイド、委員会、ホットライン等開設	
8月		
10月	●チャリフェスタ(松本市中央西公園)への参加 ●第1回更新審査、通過	・水質汚濁に係る環境基準一部改正
11月	●生組マルチ班、HSTオイルの流出事故	
(H16)	1月 ●危機管理委員会発足 ●T技、総合実験棟にて軽油流出事故	
2月	●経営者協会主催の省エネ診断受診	
3月		



年・月	シバウラの社会・環境活動	世の中の動き
2004年 (H16)	4月 ●労使合同ボランティア実施	
5月	●当社調達方針説明会にて、長野県環境保全協会『茅野会長』にご講演いただいた。	
6月	●環境標語の表彰および環境月間の行事開催 一廃棄物保管場所、危険物質の排水路への流出、劇毒物保管などのパトロール 一省エネ診断指摘事項のフォローなど	
7月	●環境フェア(長野市ビックハット)への出展参加…㈱シバウラテックも仲間入り	
8月	●経営者協会の環境委員会例会で水蒸気処理システムの開発について発表(研究室:下田S)	
10月		・労働安全衛生法にて、国内アスベスト使用禁止(原則全種類対象)
11月	●チャリフェスタ(松本市中央西公園)への参加 ●ゴミ減らし討論会への参加	
(H17)	1月 ●エコパスによる施設見学研修会への参加	・京都議定書発効(CO2排出の60%以上の先進国による批准・締結)
2月	●生組、トラクタボディ、ギヤオイル配管部での流出事故(自衛隊敷地内へ)	
3月	●㈱シバウラテック、ISO14001認証取得 ●環境部会、環境管理部門の合同会議でISO14001(2004年版)規格改訂の説明実施	

